

No.108

2021

3月5日発行

萩の郷

発行者

下市田区

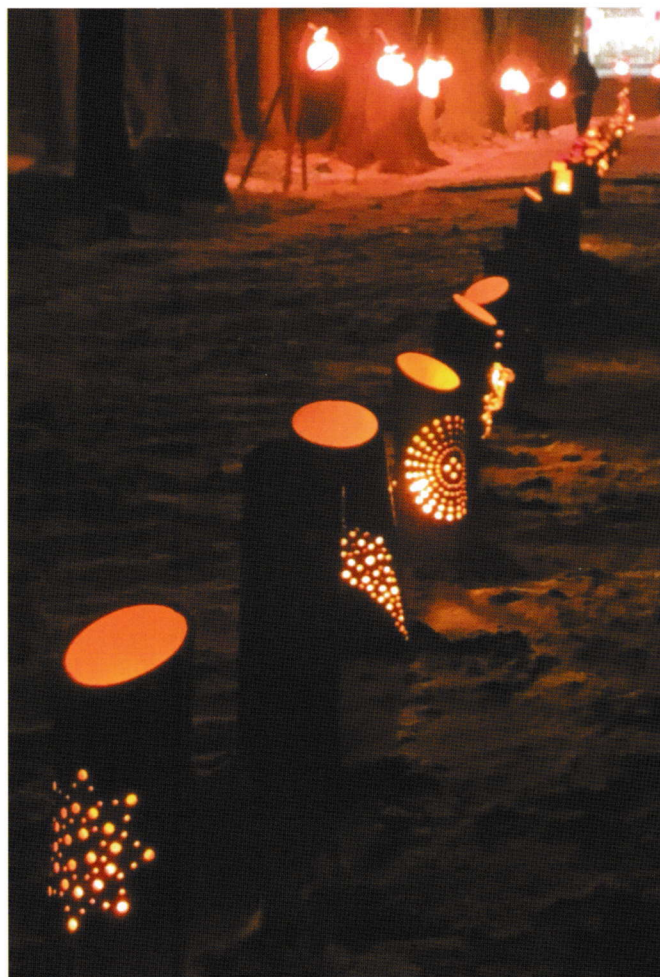
発行責任者

古瀬 栄一

印刷

下市田・キタバヤシ印刷

2021年「特別な年」から「安心して暮らせる年」に!!



一昨年は、各地で自然災害が多発した年でした。県内でも、台風十九号で甚大な被害ができました。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大で、日常生活が一変した年でした。「マスク着用や手洗い、三密の回避、不要不急の外出自粛」等です。その為、予定されていた事業の多くが中止になりました。

そんな中、下市田区から、十一月中旬に、「二年参りに竹灯明を灯しませんか」との発案がありました。それは、「二年参りに、下市田区民鎮守の萩山神社参道に竹灯明を並べ、区民の皆さんの絆と新型コロナウイルス疫病鎮静の祈りを込めた企画」でした。早速、区の三役と有志の皆さんで計画が実行されました。大晦日の午前中に竹灯明が設置され、午後十一時半に点火されました。降り積もった白い雪の上に、点々と光り輝く竹灯明の列。それは、幻想的な光の芸術でした。

しかし、現在は感染が拡大するばかりです。医療は逼迫。ついに、一月八日には、東京と埼玉・千葉・神奈川の一都三県に、緊急事態宣言が再発令されました。二月下旬からはワクチンも接種されるようですが、不安な日々が続いています。今は、コロナウイルスを押さえ込み、「希望を持って歩んでいける一年になる」こと。そして、その証として、東京オリンピックが実施できることを願うばかりです。



竹灯明台を使って南小の桜の時期には幻想的な雰囲気を出したいと思っています。今年の春祭りについては拡大執行委員会において実施する方向で進むことが決定されました。ただし状況によっては中止もあり得ますのでご理解のほどお願いします。

区の情勢について

区長 古瀬 栄一

新年あけましておめでとうございます。令和三年の幕が開きました。昨年は穏やかで暖かな元旦を迎えました。が、本年は年末寒波のため雪の舞う幕開けとなりました。昨年、区民会館の雨水のため雪の舞う幕開けとなりました。昨年は穏やかで暖かな元旦を迎えました。が、本年は年末寒波のため雪の舞う幕開けとなりました。

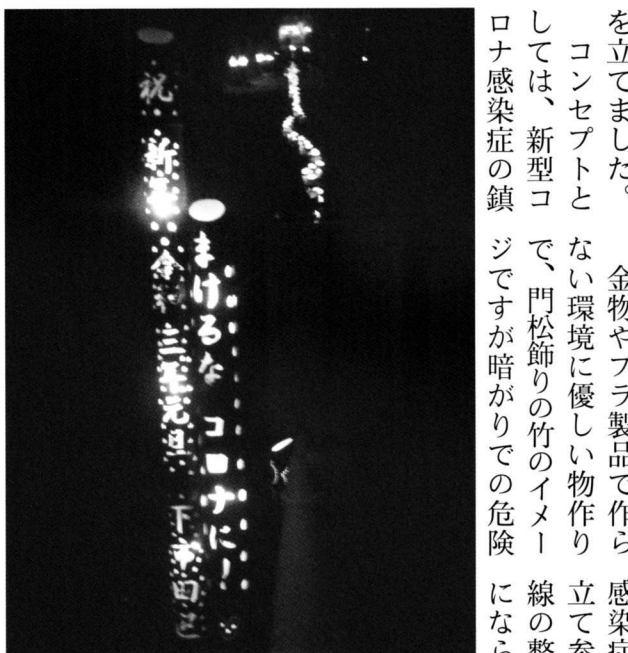
昨年はコロナに始まりコロナで終わりの状況で関係役職者合同会議、コミュニティ活動についてはその全てが実施できなかった。区の運営については定例の代議員会は欠かさず開催し、自治会との疎通を図ってまいりました。区民会館の雨水のため雪の舞う幕開けとなりました。昨年は穏やかで暖かな元旦を迎えました。が、本年は年末寒波のため雪の舞う幕開けとなりました。

関係役職者合同会議にう努めたいと思っています。についても開催予定ですが、三密の回避が問題です。防災研修会については人数を調整して開催し、防災意識の高揚を図ってし健康に気をつけて、明日へと進みましょう。

二年参りに竹灯明を！

副区長 久保田 正博

新型コロナウイルス感染症対策で区の行事がほとんど中止になり、地域の皆様の繋がりが少なくなってしまう事に役員は頭を悩ましていました。年参りの参道を灯す企画を立てました。

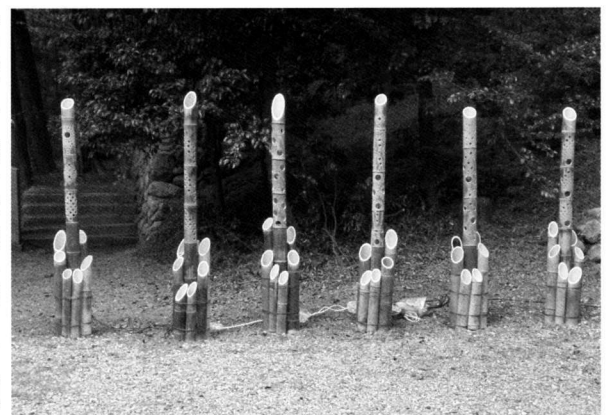


を立てました。

コンセプトとしては、新型コロナウイルス感染症の鎮

静を願い、今年できなかった地域コミュニティの補完として区民相互の暖かく優しい心を繋ぐ絆の一役とすることでした。

段丘の竹の有効利用で材料経費はろうそく代のみですが記憶に残る企画となり、参加者募集型として年末年始の忙しい時に区の役員に負担をかけないようにしました。



高森中の作品も特別参加

金物やプラ製品で作らない環境に優しい物作りで、門松飾りの竹のイメージですが暗がりでの危険を感じるような柔らかいラインとしました。二百十余の作品が集まった時は皆さんの苦労話が多く、夜の点火はちょっと感動しました。風でろうそくの火が度々消えるのは予定外でした。

特集

平和な年への希望の一句



コロナ禍で願い届けと
参道の竹灯明に
おも
念いを託す

雪と風

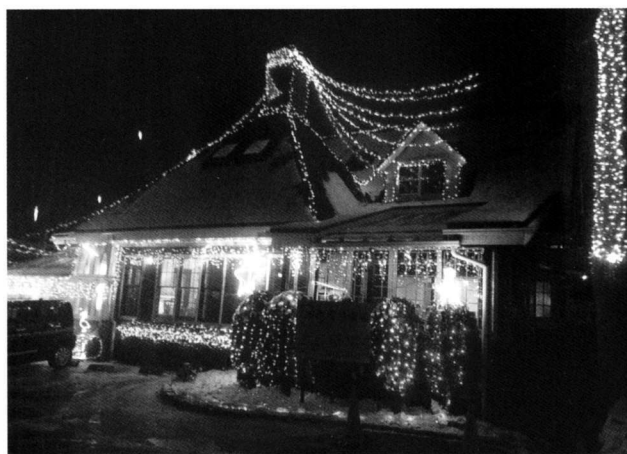
竹灯明の 揺れてをり

灯明の

作者誰かと 盛り上がり



灯明や
わが一年を 照らしをり
新年を迎えるための
注連縄を
願いをこめてみんなで作る



平成なら(平静)
通用したのよ
お願いは

消せないね
除夜の鐘では
安倍のウソ



空高く 炎と火花
ほんやりで
コロナウイルス
焼きこがす
よい年に
姿ととのう ほんやりが



各区育成会 年末年始の行事

今年度唯一の育成会行事

「おやす作り」

一区 小島 利仁

飾りのひとつである「おやす」作り。

当日は四十

新型コロナウイルスが、名ほどの小学生が参加し、世界を不安と混乱の渦にマスクを着用しながらも、陥れた今年度、ここ高森町も例外ではなく、育成会の呼吸でおやすを作り、中止となってしまう。子どもたちの願いがこもったこのお飾りが「疫滅の刃」となりますように。



「おやす作り」(平成27年2月萩の郷90号から)

「こと」をつなぐ

二区 田本

日時

令和三年一月十日(日)

午前六時点火

参加人数

点火時およそ四十名

八時頃までにのべ七十

名程度の参加

河原の農業試験場跡地が下市田二区のほんやり



会場。初冬に役場の方が刈ってくれた枯れ草を年末に自治会役員・常会長さんらで処理。

忍

例年より少し小ぶりのほんやり完成。

十日六時、中学三年生と自治会長の松明で点火。

コロナ禍でも皆が協力して、地区の大事な「こと」を心でつないで行えていることに感謝しつつ、炎の明かりで輝く皆の顔を見つめた。

ほんやり

(どんど焼き)

三区 小椋 圭一

さいました。

一月十日の早朝

約百人が参加して、

中学生が点火する

と一気に燃え上がり、竹

の破裂音が響く、正月の

風情ある光景でした。

コロナ禍で中止も検討

しましたが、無病息災を

願う伝統行事ができて良

かったです。

一月九日に小学生が門松集め、中学生が組み立てを手伝い、ベテランの方々が御神木の頂部に幣束(へいそく)を取り付け、南天や達磨や獅子花等を見栄え良く飾り付けて下



年末年始の行事

四区 近藤 昭弘

下市田四区の年末年始の行事として、おやす作りとほんやりがあります。おやす作りは、コロナウィルスの影響で実施が危ぶまれましたが、地区の方の藁の提供と講師の先生の熱意で、参加対象を五・六年生に絞って実施することが出来ました。新年になり、一月九日

くの方々のご協力で、例年同様の立派なほんやりが完成しました。

翌朝六時に点火。たちまち先端の幣束まで勢いよく燃え上がりました。火が落ち着いたところで、今年の健康を願って各自持ち寄ったお餅を焼き、家に持ち帰りいただきました。



ほんやり

五区 牧内 敏也

げたほんやりも、今年は七メートル程度での規模

毎年恒例となっている正月飾りをお焚き上げするほんやりですが、最後まで中止するか、規模をどの程度にしたらよいかなど、コロナ禍の中での苦悩での開催となりました。

昨年度は高さ十三メートルと過去最高に作り上げた。

感染対策を皆さんで協力して頂き作り上げたほんやりに、翌日皆さんの無病息災を祈り、六年生に点火してもらいました。

燃え上がる炎の中、早くコロナの無い世界が訪れる日が来ることを願わずにはられません。

た。

た。



コロナ収束を願い行った

どんど焼き

六区 栗名

守

控えられる行事が多い中、出砂原地区では一月十日にどんど焼きを行いました。無病息災を願う行事ですが、他の地区では早々に中止を決定した

喜ぶ顔を見ていると、どんど焼きが行えて本当に良かったです。来年こそ日本中で年中行事が普通に出来るように願ってやみません。



萩山郷土芸能保存会

幹事長 山本智治



萩山神社の獅子舞は、松丸の兄弟が主君のあだを獅子頭に見たてて討ち果たすというものです。春のお祭りは、獅子部・囃子部・幹事会だけでなく、区民皆様の多大なる準備作業あって出来るものです。

昨年度の春祭りは、新型コロナウイルスの感染拡大で、急遽中止となりました。

今年度の春祭りは、今の時期、三密や感染拡大を考えると、次の年

本年度も三月二十七日・二十八日と予定をしていましたが、新年明けからの飯田保健所管内での発生、高森町内での感染と広がりを見せたことから、執行部内で検討を重ねた結果、雄大な獅子舞は行わず、少人数での奉納のみ執り行う方向で進めてまいります。



平成31年 春季例大祭

には今まで通りに開催できるか分かりません。ただ出来る様になりましたら、保存会幹事一同、精一杯努力してまいりますので、区民皆さまの御協力と御参加をよろしくお願いいたします。

令和三年度 幹事会役員

幹事長 一区 山本智治	副幹事長 四区 林 栄作	同 二区 鎌倉 博	会計幹事 六区 細田 潔	副 同 四区 宮嶋 則幸	備品幹事 五区 小川 浩之	副 同 六区 北原 和	総務幹事 二区 宮沢 美保	同 三区 村山 浩文	同 三区 帯刀 昇	同 五区 松原 隆志	獅子部	部長 五区 原 文夫	同 副 二区 宮入 正男	同 副 二区 市岡 義久	獅子部	部長 五区 竹村 進	同 副 四区 木村 彰宏	同 副 三区 宮島 正樹	同 副 三区 仲平 豊実	獅子曳き部	幹事 一区 滝 英文
-------------	--------------	-----------	--------------	--------------	---------------	-------------	---------------	------------	-----------	------------	-----	------------	--------------	--------------	-----	------------	--------------	--------------	--------------	-------	------------

副幹事 一区 竹沢 秀樹
相談役 二区 塩沢 基裕
相談役 三区 佐藤 増一
本会 計 四区 林 秀俊

退任あいさつ

前幹事長 佐藤 増一



令和二年度、萩山郷土芸能保存会総会で幹事長を退任し、今年度は相談役をお受けする事になりました佐藤でございます。

令和二年度は新型コロナウイルスに振り回され、やむなく春祭りも中止されました。

大変残念でしたが春祭りの準備等に、多くの区民の皆様に御協力頂きありがとうございました。

下市田保育園児との獅子舞交流会

獅子部部長 竹村 進

子ども達の要望により実現した獅子舞交流会には、年長園児らが二十四名参加し、壬生町長をはじめ、地元新聞社の取材も入るなど、獅子部が総力を挙げての開催となりました。獅子舞の披露では、獅子舞の披露で困っていました。子ども達も分り易い説明に、獅子舞の担い手として、受け継いでいって欲しいと思います。

子ども達の要望により実現した獅子舞交流会には、年長園児らが二十四名参加し、壬生町長をはじめ、地元新聞社の取材も入るなど、獅子部が総力を挙げての開催となりました。獅子舞の披露では、獅子舞の披露で困っていました。子ども達も分り易い説明に、獅子舞の担い手として、受け継いでいって欲しいと思います。



コロナウイルスに

思うこと

一区 小木曾 広

去年一月からコロナウイルスの話題に翻弄された大変な日々が、今も終わらないでいる。

毎日大変だ大変だと、一部のメディアが言っている。今日は何人の感染者・重症者・死者が出た。毎日テレビのニュースを見ていると、不安がつのる。

三密ステイホーム不要不急の外出移動とを控えてくださいと伝えている。

随想

新年とコロナに

思うこと

三区 小沢 恵子

昨年一月、新型コロナウイルスの第一報を受けてから、催しの中止や学校行事の縮小、各店舗の時短営業やパーテーションの設営、年間を通してマスクの着用が必要とな

しかし本当にそうなのか、インターネットで調べてみると、去年の四月より感染者・重症者ともに少ない先進国の

中で比較してみても、百万人あたりの感染者・死者ともに少ないとのこと。

気になって仕方ないのは、コロナにより若者中心に仕事がなくなくなった人

七万人、業種では飲食店・居酒屋・夜の街が壊滅状態。このままだと会社

がなくなっている。コロナ感染による死者より自殺者が多いとのこと。

るなど、環境や人々の関わり方に至るまで、新型コロナウイルスを

活様式への変化を強いられ、第一報から一年が過ぎた今、一日の感染者は数千人にのぼり、ここ下伊那地域でもいよいよ身近な存在になってきました。

感染症の専門家の提言により、感染しないための具体的なマニュアルを示して頂き、マニュアルを基に行動することが、

この危機を乗り越えるヒントかと思っています。

将来的な希望は、今まで行ってきた世の中の枠組みが出来なくなり、新たなシステムを構築し、

制改革を進め数年後に振り返って、あの時大きな変革があったからよかったと言えるようになれば

と思います。

是非高森町をつくる若者が中心になって、アイデアを出し合い、すばらしい町になるよう願います。

今、今日の感染者は数千人にのぼり、ここ下伊那地域でもいよいよ身近な存在になってきました。

ようこそ下市田へ

二区 石川 雅亮

昨年三月に飯田市から下市田二区へ引っ越しして参りました、石川と申します。マイホームを建て

るにあたり土地を探していたところ、充実した制度や町の雰囲気、魅力を感じ高森町に決めました。

妻と四月から年長・年少になる娘二人と賑やかな毎日を過ごしています。

数独

すうどく

あいているマスに1から9までの数字のどれかを入れます。タテ列・ヨコ列(各9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(9マスのブロックが九つ)のどれにも1から9までの数字が一つずつ入ります。

難易度 超難問

6			2			5		
			3			7		
		8						2
2	9		8					
		1			4			
					5		6	8
9						5		
	4				1			
	7			8				6



に走ることで。下市田に来て一年、新型コロナウイルスの影響で行事等に参加出来ず、まだ分からないことも多いですがどうぞご指導頂ければ幸いです。このご縁を大切にしていけたらと思っています。これからもよろしくお願い致します。

楽しい陸上

小五 井上りん (五区)

わたしは、四年生の時から陸上をやっています。最初は、短距離をやっていました。長距離の人がさそってくれて長距離の見学に行きました。あまり長い距離を走ることが好きではなかったのですが、学だけのつもりでしたが、なぜか楽しくなっていました。長距離に入ってから走ることが、どうして

のかが分からない時も、コーチがしっかりと教えてくれたりするのでうれしかったです。そして、友達は、友達です。最初は、友達があまりできませんでした。でも、仲良く話したり、はげましたりできる友達ができました。最初は、あまりしやべれなかったけれど、今ではすごく仲良し



です。長距離は、定期練習の他にも特別練習が夜にあります。走り終わった後、とても気持ちがよいです。三つ目は、大会で上位になれるように、練習をがんばっています。フォームをかくにんしたり、ラダーをしたり、自しゅ練習をしています。練習をして、大迫せん手のように速くなりたいです。去年は、コロナで大会がほとんど中止になりました。とても、ざんねんでした。今年は、大会があるといいです。大会で沢山走りたいです。これからも、がんばりたいです。

わたしの作文 ぼくの作文



ぼくの好きな事

小三 鳥海宏陽 (四区)

ぼくは、りく上クラブに入っています。長きよりを走る事が好きです。ぼくががんばっている事を、しょう紹介します。一つ目は、のこり二百



あきらめずに、走れる事です。長きよりは、とてもつかれますが、「がんばって走れた。」

「走って良かった。」

「長きよりっていいな。」と思う気持ちに

区民会館年末大掃除

令和二年度十二月吉日、区民会館大掃除がおこなわれました。

コロナ禍という事もあり、限なく丁寧に掃除を行いました。



高い所・蛍光灯・ガラス・ショーケース・折り畳み式ロングデスク・パイプ椅子・印刷室・お手洗い・廊下・キッチンなどを掃除していきま

良い年になりますように、そんな願いをこめながら。

編集後記

令和三年の幕開け。ワクチンの効果が出て通常の年になれば幸いです。編集委員の皆様ご苦労様でした。行事中止で例年の紙面構成ができなくて苦労お掛けしました。良いメンバーに恵まれ、編集作業が出来ました事、感謝します。

また、原稿提供の皆様にも御礼申し上げます。ありがとうございました。

解 答	解き方	考え順
6 1 7 9 2 8 3 5 4	● 2 10 43 ● 31 28 ● 37	
4 2 9 3 5 6 8 7 1	6 7 9 ● 5 32 29 ● 13	
3 5 8 1 4 7 6 9 2	11 4 ● 50 53 58 30 39 ●	
2 9 5 8 6 4 1 3 7	● ● 18 ● 33 34 27 23 24	
8 6 1 7 9 3 4 2 5	17 21 ● 55 49 52 ● 38 19	
7 3 4 2 1 5 9 6 8	8 1 12 41 46 ● 44 ● ●	
9 8 6 4 7 2 5 1 3	● 16 54 56 59 47 ● 14 42	
5 4 2 6 3 1 7 8 9	20 ● 51 57 48 ● 25 15 40	
1 7 3 5 8 9 2 4 6	3 ● 26 22 ● 45 36 35 ●	